

2016 05 27~30 WorkCamp II

5月の最終週に大自然のひろばに行って作業してきました。
今回は箱根に住む友人が山の道具やテント、大型の炊事用具座卓などを持ってきてくれるというので、大自然のひろばで待ち合わせをして道具を受け取りました。30代の頃に山岳救助と一緒にやっていた仲間で、そろそろ用具の整理などをするので、山荘で活用してくれないかと2トントラックに積んで持ってきてくれました。（感謝）

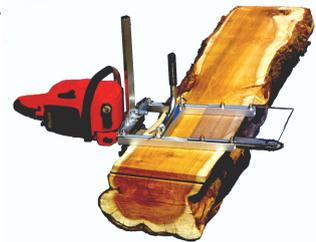


リスト

大型のガレージ（雪国用）電動丸ノコ、ハイビームライト、スノウスコップ（アルミ製）、脚立2台、電工ドラム、ザイル、滑車、ロープ類、ゼルバン（ハーネス）ドームテント多数、コールマンテント（家型）、炊事用具、鯉のぼりポール（大型）コンポスト、座卓6台（新品）ホワイトボード、工具類など。

これで、30名ぐらいのキャンプなら用具を持ってこなくても貸し出しで対応ができます。

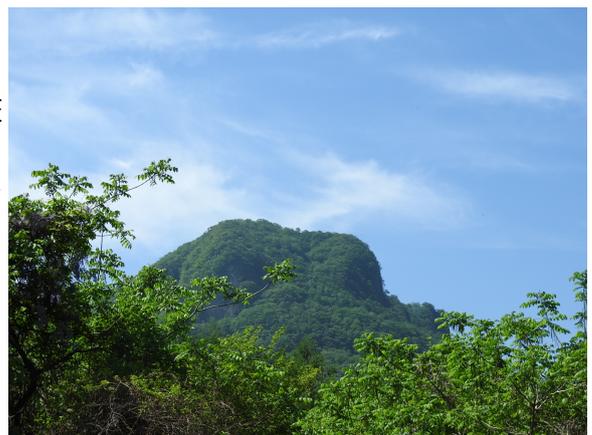
28日は一人だったので、作業場づくりの材料を購入しただけで、あとはのんびりと過ごしました。そして、29日は尾方さんが手伝いに来てくれたので、足りない材料を購入して次回作業できる日が出来たら、庭のビニールハウスを補強して作業場をつくることとしました。



実は二人とも試してみたいことがあり、そちらを優先しました。それは、チェーンソーにアタッチメントを付けて、丸太を板にする作業です。昨年から探していた工具（スモールログミルG777）が手に入ったので、早速組み立て（尾方さんが）て直径50センチほどの丸太を切ってみました。もう少しチェーンソーに馬力があれば楽なのかもしれませんが、結構きつい作業です。でも、思ったよりはキレイな板ができるので、これで唐松を活かした工作物を作ることができます。

この季節は天気が良いと気温も高くなるのですが、標高1000mの高原は気持ちの良い風が吹いて、過ごしやすいです。樹木を痛めつける、フジが満開に咲いてとてもキレイでした。敷地内のフジズルはほとんど伐採してしまったので、場内では見かけません。入口にある山桜は散っていましたが、数輪の花が残っていて、誰も見る人がいなくても、自然は季節を進めていることがわかります。

逢阪副理事長にお願いして調査していただいている林野庁の補助事業（森林・山村多面的機能発揮対策交付金）について、長野県の担当者と話すことができました。長野県在住者がいれば、そこを事務所として補助金が受け取れるようです。早々に尾方さんをお願いして快諾をいただいたので、来年度に向けて準備を進めたいと思います。



30日は横浜で朝から講師の仕事が入っていたので、4時47分に山荘を出発して、上信越道・関越道・都内を抜けて、第三京浜経由で横浜に8時30分に到着。以上、4日間と短い作業でしたが今年二回目のワークキャンプを無事終了しました。

